

つないでいこう 平和のバトン



我孫子市平和のうた 「願いを込めて～PEACE FOREVER～」

令和7年に戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年を記念して、平和事業推進市民会議の若者たちが考えた歌詞に、佐々木祐滋さん(「原爆の子の像」のモデル・佐々木禎子さんの甥でシンガーソングライター)が曲を付けました。次世代に平和の大切さを伝え、未来へつないでいきたいという思いが込められています。

図 企画政策課・内線50211



▲市HP

我孫子市の平和事業



中学生派遣事業

平成17年度から毎年、市内中学生の代表者を広島・長崎へ派遣しており、令和8年度は長崎へ派遣します。平和祈念式典への参列、資料館の見学などを通して被爆の実情を学び、派遣後は、市の平和祈念式典や「平和の集い」で報告を行います。

広島・長崎派遣中学生リレー講座 ～未来を生きる子どもたちへ～

高校・大学生になった歴代派遣中学生が、現地で見、聞いて、感じたことを小学生に伝え、戦争や平和について共に考える授業です。これまでに1万人以上の小学6年生が受講し、平和への思いがリレーのバトンのように次世代へつながっています。



平和事業推進市民会議

市内の団体や市内在住・在学の方など、10代～80代の幅広い世代で構成し、平和に関する啓発活動や記念事業の企画・運営などを行っています。

平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかしながら、今日なお世界の動きは、核戦争の危機をはらみ、誠に憂慮にたえない。わが国は唯一の被爆国として、核兵器の恐ろしさと、被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、再び広島・長崎の惨禍を繰り返してはならない。我孫子市は市民の生命と安全を守るため、いかなる国のいかなる核兵器に対しても、その廃絶を求め、ここに平和都市を宣言する。

昭和60年12月3日 我孫子市